

歴史と自然の宝庫。宮崎県北の魅力を紹介

フリーペーパー発行部数
宮崎県北No.1《60,000部》

W+ing

2016

8

VOL.79
毎月発行

FREE



宮崎県北の 高校校歌 ♪ 特集

ARアプリをダウンロードして母校の校歌を聴こう！



anniversary

cablemedia
waiwai
ケーブルメディアワイワイ

ありがとう、地域とともにこれからも

無料です。ご自由にお持ち帰りください。

なつかしい母校の校歌を
口ずさんでみませんか

宮城県北の 高校校歌特集

友と学び、友と語り、友と遊んだ3年間。なつかしい高校を校歌に乗せて思い出してもらおうと、県北各高校の校歌を特集した。

・イベントおでかけ情報

P 7 県北雑学

県北で最も古い歴史を持つ延岡高校の前身、旧制の延岡中学校と延岡高等女子学校の校歌を紹介。

P 12 ウイングイキイキビト

富島高校3年生
荒川 史帆さん

P 18-30 今月の番組の見所と オススメ番組

P 34 テレビ、HD料金案内

P 35 ネット、電話料金表



表紙 / 延岡しろやま支援学校

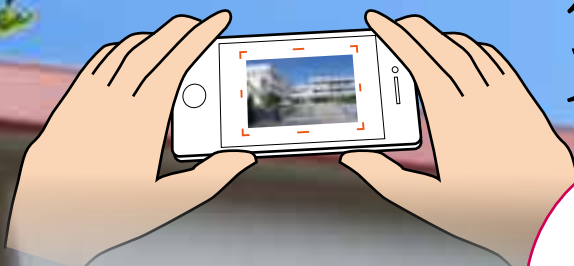
光陰矢のごとし。楽しかった学校生活はアツという間に過ぎていく。だが思い出は、タイムカプセルのように自分の心の中にとどまっている。校歌はタイムカプセルを開ける鍵である。

ARアプリをダウンロードして母校の校歌を聴こう!!

宮城県北の 高校校歌 特集

社会人になると、学校生活が懐かしくなる。県外に住む人にとってはなおさらである。学校時代を思い起こすとき、必ず頭に浮かぶのが校歌。歌詞と旋律を思い出しながら校歌を口ずさむと、思いで深い校舎や恩師、友の姿が走馬灯のように脳裏を駆け巡る。今回は県北各高校の校歌を特集、ARで母校の校舎や校庭の画像と同時に、校歌の音声が行くようにした。

〈順不同〉



ARアプリ
ダウンロード
方法は
こちら!!

ARコンテンツ を楽しむには

① スマホやタブレットで
COCOAR2アプリ(無料)
をダウンロード



② COCOAR2を起動

③ ARのついた画像を
スキャンします
※端末は縦位置で



④ 限定コンテンツ
(動画・画像)が
始まります

※ダウンロード方法など、詳しくは
P9をご参照ください



宮崎県立延岡高等学校

校訓 / 剛健・自治・信愛



うるわし延岡輝く母校
明けゆく空のひかりさやけく
たゞよう雲よ川のながれよ
みどりの愛を仰ぎみるとき
希望の風は胸にあふる、

校歌

作詞/渡辺 修三
作曲/近衛 秀磨

校長あいさつ
段 正一郎



今年創立117年を迎える延岡高校は、伝統を重んじながら常に進化しています。具体的には、3つのことを挙げたいと思います。まず一つ目は、国立大学進学率が今年64%と、過去最高の数字を達成しました。二つ目は、合格率だけでなく、在校生の満足度が県内有数の高い学校であること。三つ目は、メディカルサイエンス科の使命である国立医学部合格者が、現浪併せて7名であったことです。延岡は常に地域の期待に応えられる学校でありたいと思います。

学校沿革
明治32年、県立延岡中学校設立。昭和4年、県立延岡高等女学校開校。同23年、延岡恒富高等学校創立。同25年、工業科と商業科を向洋高等学校に編入。同34年、延岡高等学校に改称。同44年、定時制が延岡第一高等学校に。



宮崎県立延岡星雲高等学校

校訓 / 志の風・美しい風・創造の風



日向の灘に 光溢れて
豊かに流る 五ヶ瀬川
歴史芳し 古都に立つ
若人の英知 育む学舎
星雲星雲星雲我が母校
今ぞ起こそう 志の風

校歌

作詞/池上 和文
作曲/甲斐 典明

校長あいさつ
星衛 俊一郎



内なる道徳律カントの星輝く延岡西高と日の出の勢い東雲をシンボルとした延岡東高。この2校から誕生した星雲も創立12年目を迎えました。昨年10月には創立10周年の記念式典を行いました。「継承と想像」を合い言葉に、2校の心を受け継ぎ、時代に新しき風を起し、星雲ブランド(風の星雲、成長の星雲、部活動の星雲、徳ありて智の星雲、フロンティア科の星雲)を創り上げていきます。

学校沿革
平成15年、県教委が延岡東高等学校と延岡西高等学校の統合と、新高校を延岡東高等学校敷地内設置を発表。同16年、県教委「延岡星雲高等学校」(仮称)の新設を発表。同17年、開校。同22年「国際人文科」を「フロンティア科」に。



宮崎県立延岡東高等学校

校訓 / 努力・清心・創造



日向大灘 流れゆく
八重の黒潮 若人
われら いのち燃えて
努力たゆまずここに学べば
希望はてなく 胸にひろがる
ああ延岡東 わが母校

校歌

作詞/吉田 英一
補作/服部 七郎
作曲/湯山 昭

※平成17年延岡星雲高等学校に統合



宮崎県立延岡西高等学校

校訓 / 知恵・美德・健康



歴史は香る丘の辺に
知恵と美德と健康を
求めて集う若人の
正気は学園に溢れたり
ああ清心の我が母校
輝く延岡西高校

校歌

作詞/向高 祐典
作曲/永友 満子

※平成17年延岡星雲高等学校に統合



宮崎県立延岡しろやま支援学校

学校教育目標 / 心豊かでたくましく地域社会で生きぬく力を育成する



青い川波ふるさとに
きみとわたしの
いのちきらめき
しろやまの木々も芽ぐむよ
さあ、こころひとつに元氣よく
今日の一步を一步を踏みだそう

校歌

作詞/松田 朝子
作曲/中園 哲也

校長あいさつ
別府 宗光



延岡しろやま支援学校も創立5年目をむかえます。今年度も本校のわかあゆ部門、ととろ部門、たいよう部門、そして、高千穂高校のそれぞれの教育の充実を図り、一人一人の学びを確かなものにし、学びを未来につなげていきたいと考えます。また、今年度は本校寄宿舎に3部門からそれぞれ生徒が入舎しました。3部門の生徒が在舎する寄宿舎の新しい歴史の幕開けでもあります。地域の皆さま、関係機関の皆さまのご理解とご支援のほどどうぞよろしくお願いたします。

学校沿革
平成24年4月1日、延岡ととろ聴覚、延岡たいよう、延岡わかあゆの各支援学校を統合して県立延岡しろやま支援学校設立(県立延岡西高等学校校跡)。同月13日、第1回入学式(幼稚園部・小学部・中学部・本校高等部・高千穂校)。

大正10年、東臼杵郡立延岡商業学校開校。昭和8年、中川原町（現旭小所在地）に移転。戦時中に工業学校化され、昭和22年に商業と工業を分立。同25年、延岡向洋高等学校創立。同40年、延岡工業高等学校と改称。



校長あいさつ
河野 明浩

創立72年の工業系専門学校です。延岡工業学校・延岡恒富高等学校・延岡向洋高等学校と名前が変わり、延岡工業高等学校となりました。学科は機械・電気電子・情報技術・土木・環境化学システム・生活工学の6学科、1学年240人、全校720名の学校です。部活動が盛んで、野球部は4回甲子園に出場し、昨年度はバレーボール部が高校総体、春高校予選大会で優勝しました。



宮崎県立延岡工業高等学校

校訓 / 立志・勉勵・創造



校歌

作詞／渡辺 修三
作曲／岡本 敏明

友よ来よ 見よ海原を
果てしなき 太平洋を
若ものの 希望ははるか
あ、海鳴りのとどろく丘辺
向洋 向洋 われらが母校

大正10年、東臼杵郡立延岡商業学校開校。昭和8年、中川原町（現旭小所在地）に移転。同25年、向洋高等学校に統合。同33年、向洋高等学校より分離、延岡商業高等学校設立。同43年、60年、野球部夏の甲子園大会出場。



校長あいさつ
花盛 和也

「質実剛健」「堅忍持久」「勤労愛好」の校訓のもと、「栄光は君に！挑戦せよ延商生」をスローガンに、チャレンジ精神にあふれる生徒の育成に励んでいます。私たち教職員は「頭を鍛え、褒めて、伸ばす」「心を鍛え、褒めて、育てる」「体を鍛え、褒めて、伸ばす」の3つを念頭に置いて「生徒に厳しく、温かく寄り添える教師」を目指し、日々の教育活動に取り組んでいます。そんな私たち教職員と生徒たちの合い言葉は「A.T.M.（明るく！楽しく！前向きに！）です。



宮崎県立延岡商業高等学校

校訓 / 質実剛健・堅忍持久・勤労愛好



校歌

作詞／谷村 博武
作曲／園山 謙二

長尾の山の 空澄み
清浄の地に ならびたつ
白亜の校舎 光あり
質実剛健 いざわれら
ここに集えり 若き日を
延岡商高延岡商高
平和の学園



昭和26年、延岡高等計理学校開校。同40年、延岡学園可愛ヶ丘高等学校開校。同41年、延岡学園高等学校と改称。平成3年、尚学館中学校開校。同10年、尚学館高等部新設。同26年、野球部夏の甲子園大会準優勝。



校長あいさつ
佐藤 則夫

本校は、「自立心を養い、有為な社会人を育てる」という建学の精神と校訓「勤勉 進取 礼節」のもと、生徒たちは、授業に、学校行事に、部活動にひたむきに取り組み、自分の可能性に精一杯挑戦しています。訪れた方々より「生徒が明るく、よく挨拶をしますね。」と言っていたと思います。活力と節度のある学校を生徒教職員全員で目指しています。



延岡学園高等学校

校訓 / 勤勉・進取・礼節



校歌

作詞／渡辺 修三
作曲／海老原 直

見上ぐる空に 山青く
ながるる雲に 夢をよぶ
みどりの風の 吹くところ
ああ清新の 学び舎よ
希望は高し わが母校

昭和26年、延岡高等計理学校開校。同40年、延岡学園可愛ヶ丘高等学校開校。同41年、延岡学園高等学校と改称。平成3年、尚学館中学校開校。同10年、尚学館高等部新設。同26年、野球部夏の甲子園大会準優勝。



校長あいさつ
服部 泰秀

尚学館中学校・高等部は県北初の中高一貫の私立学校として創立され、今年で26年目を迎えます。延岡に居ながらにして都会並みの教育を受けられるということで、夢を叶えるため多くの生徒諸君が集い日々楽しく勉強しています。創立以来、東京大学に22名、医学部医学科に104名（国立62・私立42）の合格実績を有しています。



尚学館中学校・高等部

校訓 / 勤勉・進取・礼節



校歌

作詞／岡田 将企
作曲／齋藤佳世子
補詞／橋口 貞史

緑あふるる 大峡の
学び舎に今 集い来て
可愛の頂き 仰ぐとき
高き理想に 胸燃ゆる
ああ麗しのわが母校尚学館

宮崎県立延岡青朋高等学校

校訓 / 自主自立・友愛協調・規律責任



朋と見つめた海の青さは
つばさの白さをきわたらせ
わたしはわたしを
好きになる
はばたく力を手に入れて
飛び立つ瞬間を待っている

校歌

作詞 / 藤崎 正二
作曲 / 後藤 康浩
編曲 / 猪野 秀史

校長あいさつ

河野 敏史



本校は、定時制と通信制の2課程を持つ単位制高校です。単位制高校では、何年生でどのような科目を選択するか自分で決めることができます。そして、修得した科目の単位を積み上げ、決められた条件を満たせば卒業ができます。本校では、この単位制の仕組みをうまく利用して、自分の学力・興味にあわせて科目を選んだり、自分の仕事のペースにあわせて科目数を調整したり、単位修得を支援する仕組みをたくさん持っています。

学校沿革
昭和22年7月、県立延岡恒富高等学校定時制課程開校。同34年、延岡高等学校に改称。定時制に商業科設置。同44年、延岡第二高等学校として二部制の独立校に。平成13年、通信制課程開設。同18年、延岡青朋高等学校に改称。

宮崎県立日向高等学校

校訓 / 剛健・信愛・創造



若草萌ゆるこの丘の
清新の風吹くところ
南の国の太陽と
緑のなにかにかかげたる
剛健・信愛・創造の
学びの窓の道しるべ
日向高校日向高校
われらが母校

校歌

作詞 / 高森 文夫
作曲 / 折本 吉数

校長あいさつ

山田 秀人



本校野球部は、平成元年夏に甲子園出場をしており、野球部OBにも青木選手や織田選手などプロ野球等で活躍されている方々もたくさんおられます。今年度は2回目の甲子園出場を目指し、日々の練習以外でも、毎朝校内を清掃するなど、ボランティア活動にも取り組む。技術面と精神面を鍛えてきました。今回の県予選では、そこで培った力を十分に発揮し、素晴らしい結果を残してくれるものと信じています。

学校沿革
昭和50年、県立日向高等学校開校。富島高校普通科が分離独立。平成元年8月、野球部夏の甲子園大会出場。同18年、外国語科設置。同20年、ラグビーフットボール部全国大会（花園大会）出場。同23年、フロンティア科設置。



聖心ウルスラ学園高等学校

校訓 / 愛・感謝・犠牲奉仕



浮世の塵をよそに見て
高嶺の花のその操
ゆかしき色香ね来て
ここに道ありいざ励め
聖ウルスラ意気高く
ここに道ありいざ励め
聖心ウルスラ学園
意気高く意気高く

校歌

作詞 / 赤波江 愛次郎
作曲 / マリオ・リック

校長あいさつ

牧野 みどり



カトリック学校である聖心ウルスラには、いつも追い求める教育の夢があります。それは、ウルスラで学ぶすべての生徒たちが、神様から頂いた自分の「いのち」を世界の平和のために捧げる人になるよう導くことです。生き方は人それぞれですが、いつでもどこでもだれにでも平和のために勇気をもって自己発信できる生徒たちの心づくりにこれからもこだわっていきます。

学校沿革
昭和30年、学校法人緑ヶ丘学園高等学校開校。同42年、緑ヶ丘学園短期大学開校（のち閉校）。昭和47年、歯科衛生士学院開校（のち廃止）。平成2年、聖心ウルスラ学園と改称。同19年、聖明中学校開校。同22年、聖明中学校高等部開設。

聖明中学校・高等部

校訓 / 愛・感謝・犠牲奉仕



浮世の塵をよそに見て
高嶺の花のその操
ゆかしき色香ね来て
ここに道ありいざ励め
聖ウルスラ意気高く
ここに道ありいざ励め
聖心ウルスラ学園
意気高く意気高く

校歌

作詞 / 赤波江 愛次郎
作曲 / マリオ・リック

校長あいさつ

古川 四百里



聖明中はカトリック学校で中高六ヶ年の学校です。学校の大きな特長は二つです。一つは、カトリック学校として宗教の授業があり聖書を中心とした在り方や生き方を考えることができます。もう一つは、中高一貫校として多くの授業時数を取り、基礎的な学力の上に、発展的な学習を行います。こうした二つの特長を生かした、生きて働く学力をもとに、学園の目指す人間像である平和のために働く人となり、社会で活躍することを期待しています。

学校沿革
昭和30年、学校法人緑ヶ丘学園高等学校開校。同42年、緑ヶ丘学園短期大学開校（のち閉校）。昭和47年、歯科衛生士学院開校（のち廃止）。平成2年、聖心ウルスラ学園と改称。同19年、聖明中学校開校。同22年、聖明中学校高等部開設。



宮崎県立富島高等学校

校訓 / 自立・友愛・創造



校歌

作詞 / 高森 文夫
作曲 / 石黒 修三

大空に光はみちて
うなばらに黒潮流る
来りみよ輝く学園
われら若き希望に燃えて
ひたすらに学び鍛ゆる
富島富島われらが母校



校長あいさつ
大山 江里子

本校は、全日制課程と定時制課程が併設された、商業と家庭の学科を有する専門学校で、今年創立百周年を迎えます。「自立、友愛、創造」の校訓のもと、社会人として通用する人材の育成を目指し、ボランティア活動や現場実習、商品開発や起業家の活動等地域と連携した活動に積極的に取り組んでいます。また、部活動も盛んで、就職・進学ともに毎年100%の決定率を誇る歴史と伝統のある学校です。

大正5年、東臼杵郡立農業学校開校。同11年、県立富島農学校と改称。昭和4年、富島実業学校と改称。同23年、富島高等学校。同25年、普通・商業・農業・林業・家庭の5学科設置。同39年、農業科・林業科が門川農業高等学校として独立。

学校沿革



宮崎県立日向工業高等学校

校訓 / 自発・創造



校歌

作詞 / 清武 肇
作曲 / 黒木 淳吉
海老原 直

黒潮は陽にかがやきて
希望もえ湧きたつところ
若き眉ここに集いて
科学の炬火をかかぐ
ああ伸びゆく母校
我らの日向工高



校長あいさつ
稲用 光治

本校は、これまでの輝かしい伝統を受け継ぐとともに、校訓「自発・創造」を高校生活の中で実践し、生徒一人ひとりの資質や能力が一層開拓され、自ら学び、考え、主体的に判断し行動できる心豊かでたくましい生徒の育成を目指しています。さらに「日向(ひむか)を動かす人となれ 起動せよ」をスローガンに掲げ、本校独自の工業教育を実践することで、本校関係者、地域の皆様方に愛され、選ばれる学校になるよう努力しています。

昭和36年4月、県立日向工業高等学校創立。機械・電気・工業化学。同37年7月、新校舎へ移転。同39年、建築科新設。平成9年、19年、国体少年男子ソフトボール部優勝。同10年、ソフトボール部全国高校総体優勝

学校沿革



宮崎県立門川高等学校

校訓 / 篤実剛健



校歌

作詞 / 長嶺 宏
作曲 / 海老原 直

きらめく海 みどりなす鳥
若人の ひとみすずしく
うらわかき 希望のつばさ
風をきり 空をかける
われらのわれらの門川高校



校長あいさつ
川越 寛

門川高校におけるすべての学びは「ときめき」と「感動」の連続です。人との出会いは「ときめき」「感動」のはじまりです。はじめて会う人の場合「いったいどんな人だろう」となると想像するところから「ときめき」ます。また、富士山のような雄大な自然、渓谷を流れる渓流、季節の花々にも「感動」があります。門川高校は、地域貢献のためボランティア活動等にも「ときめき」と「感動」をスローガンに積極的に取り組んでいきます。

大正5年、富高村(現日向市)に東臼杵郡立乙種農学校開校。昭和4年、富島高等学校創立。同39年、門川農業高等学校分離独立。平成17年、門川高等学校に改称。平成27年、栽培(ビジネス・食品加工・介護福祉)総合進学の4系列に。

学校沿革

宮崎県立高千穂高等学校

校訓 / 大道を歩む・鍛錬・協調・奉仕



校歌

作詞 / 桑原 節次
作曲 / 陸軍戸山学校

雲路を分けて天降しし
神代の姿まのあたり
山また山は紫に
水ちよう水は明らかに



校長あいさつ
山口 博範

本校には、生産流通科、経営情報科、普通科の3学科があり、一学年4クラスで全校生徒371名が通っています。生徒371名が通っています。明るく素直な生徒が多く、礼儀正しく、自分の夢や目標に向かって粘り強く努力しています。部活動では全国的に知名度の高い剣道部があり、今年も全国大会に出場します。生徒の7割は国立大学や私立大専門学校へ進学。3割の生徒は県内外の企業へ就職します。

大正6年、西臼杵郡立乙種農学校開校。昭和3年、県立高千穂農学校と改称。同4年、高千穂実業学校と改称。女子部併設。同23年、高千穂高等学校発足。同32年、玉龍旗剣道大会優勝(ほか国体など全国規模の大会で優勝多数)。

学校沿革

みやざき県北イベントおでかけ情報

NORTH MIYAZAKI EVENT INFORMATION

2016

8月



8月のイベント

8月 5日(金)、6日(土)	日向ひよつとこ夏祭り	日向市中心市街地
8月 6日(土)	西門川いきいき夏祭り	門川町西門川活性化センター
8月 6日(土)	うなま地蔵夏祭り	美郷町北郷宇納間
8月 10日(水)・11日(木)	菊・ほおずき直売市	日之影町道の駅青雲橋
8月 11日(木)	サルタフェスタ 2016	高千穂町総合公園
8月 15日(月)	百済の里いだごころ祭り	美郷町南郷茶屋下駐車場
8月 21日(日)	北方陸上チャレンジ夏祭り	延岡市北方総合運動公園
8月 21日(日)	おひさまのおかげ「青雲朝市」	日之影町道の駅青雲橋
8月 27日(土)	門川みなとフェスティバル、花火大会	門川町庵川漁協周辺

けんほくのいろいろあれこれ

NORTH MIYAZAKI
TORIYA

県北雑学



NOBEOKA
HYUGA
KADOGAWA
MISATO
TAKACHIHO
HINOKAGE

NO.79

旧制県立延岡中、延岡高女の校歌

年を経るごとに歌詞一部変更

県北で最も古い伝統を誇る延岡高校の前身、旧制の県立延岡中学校と、延岡高等女学校の校歌は、どんな内容だったのだろうか。

まず旧制延岡中の校歌は、大正6年（1917）に制定された。作詞は同校教諭だった工藤正勝氏。別掲がその校歌で、5番まであるが、1番のみを紹介する。



旧延中の正門

この歌詞にある「五百の健児」は、生徒の増加によって後に「健児六百」と言い換えられている。

それだけでなく、3番の「建国二千五百年」の「二千五百」や、5番の「齢（よわい）もこゝに二十歳（はたとせ）」の「二十歳」も、年を経るごとに言い換えられるという、なんともユニークな校歌だったのである。

12番のロング初代校歌

別掲の校歌は、実は3代目のも



旧延岡高女の正門（現 岡富中）

のである。つまり前に2つの校歌があったのだ。初代の校歌は、いつ作られた年代がハッキリしないばかりか、作詞・作曲者の名前や旋律も分からないが、明治時代の校歌にしては、内容はそれほど難しいものではない。

ただ、2番の歌詞に「春過ぎ夏去り早や四年」とあることから、設立4年後に出来た校歌ではないか—と言われている。歌詞はなんと12番まである超ロング校歌。

2代目校歌は牧水の友人作

2代目の校歌は、明治42年（1909）ごろに作られ、作詞は止戈（しか）氏。これは雅号で本名は村井武。同氏は歌人若山牧水の友人だった。5番まであり、この校歌も曲が分からない。しかも、初代校歌と違って、難しい表現がいくつもあ

ほかに旧制延岡中学には、「学生歌」（作詞・有田四郎）、「明德寮歌」（作詞・土持悟）、「延中かぞえ歌」（作詞・秋山栄雄）などがある。

旧延高女の校歌は2つ

旧制延岡高女の校歌は2つある。初代校歌は昭和7年（1932）に制定され、当時の鈴木徳治校長が作詞、長渡栄教諭が作曲した。3番のうち1番だけを紹介する。

2代目は白秋作詞・耕筈作曲

2代目の校歌は、昭和15年3月の卒業式で始めて披露された。作詞は北原白秋、作曲は山田耕筈という当時日本最高レベルの詩人・作曲家ともいえるべき豪華版。4番まであり、1番だけを紹介する。

同校の前身の私立延岡女学校は、旧延岡藩主の内藤家が設立したこともあって、初代、2代目の校歌とも、歌詞に内藤家の家紋「下り藤」を織り込んでいる。

このほか、作詞・作曲不詳の「卒業の歌」や「祝歌、振興踊り歌」（作詞・芳地俊男）などがある。

最後の両校卒は80代後半

今も同窓会などで歌われる旧延中と旧延女の校歌。この校歌を歌って卒業した最後の健児・乙女たちは、すでに80代後半である。

旧制延岡中校歌（3代目）

聞け向洋の波の音
見よ靈峯の雲の色
神のみ國の元つ國
巷の塵を遠退きて
蛟龍池に臥すがごと
五百の健児雲を待つ

旧制延岡高女校歌（2代目）

藤浪の 春にあひて、
開くもの 花のみかは、
少女子は 姿ともに、
心ばえ やさしつつまし
匂へよ 下り藤
紫の 霞引きて
延岡高女 延岡高女

旧制延岡高女校歌（初代）

歴史も古き藤の下かげ
自からなる直路をとめて
恵みたらえり我らは若し
いざいそしまん学びの道に



旧延中の授業風景



延岡高女の名物、花輪体操

W+ING POWERFUL PEOPLE

全国手帳甲子園「表紙デザイン」 部門日本一

富島高校3年生

荒川 史帆さん

SHIHO ARAKAWA



PROFILE

富島高校3年生。
昨年、平成27年度 全国手帳甲子園「表紙デザイン」部門で見事最優秀賞に輝く。富島高校で応募した大塚食品のピタミン炭酸MATCHの「青春ボトル甲子園」のラベルデザインではイラストを担当。日向商工会議所のサーフィンピンバッジをデザインするなど、才能あふれる日向市在住の女子高生。



中高生向け手帳コンクール

「荒川さんが日本一に選ばれましたよー。田宮あや先生(現五ヶ瀬中等教育学校教諭)の興奮しきった声で、富島高校に第一報が入った。昨年12月12日、東京の原宿クエストホールで開かれた「第4回手帳甲子園」でのことである。

「表紙デザイン」最優秀賞

手帳甲子園は、(株)NOLT Yプランナーズが主催している中高生向け手帳のコンクール。「取り組み部門」(団体)、個人部門「活用術」、同「表紙デザイン」の3部門に、全国の中・高校から多数応募があった。

荒川さんは、表紙デザインに挑戦。まず富島高生の中から荒川さんの作品が選出された。その作品が手帳甲子園で優秀賞(5人)に選ばれ、引率の田宮先生と、いざ東京へ。最終審査で、並みいる秀作を押しつけ、みごと最優秀賞に輝いた。

「楽しく描きました」

作品は、ペルシャジュータンや曼荼羅(まんだら)を彷彿させる美しいデザイン。色合い構図ともにすばらしく、しかも実に根気よく緻密に描かれている。「自分の思いのまま描きまし



▲MATCHの「青春ボトル甲子園」のラベルデザイン。ひよっこサーフィンピンバッジ

た。時間があっても、何もすることがなかったとき、丸い模様の中心から少しずつ大きくしていきました」

「その丸い模様の周りに描いている模様は、緑が好きなので、緑をイメージして描きました。こだわったところは、色です。どのような色ならびにした方が美しくなるかを考えながら描きました。あと、背表紙まで描いたところもこだわったところですよ」

「下書きなしの一発描きです。この表紙のデザインに意味などはありません。ただ楽しく描きました」。

サーフィンピンバッジもデザイン

また、日向商工会議所が東京オリンピックのサーフィン会場誘致運動の一環として作った「ひよっこサーフィンピンバッジ」のデザインも、彼女の作品

なのだ。

形は日向市特産のハマグリをモチーフにサーフボードに乗ったひよっこサーフボードを乗っている様子デザイン。同会議所では1000個製作。1個200円で販売中。去る5月24日、日向市役所であつた十屋幸平市長へのバッジ贈呈式には、三輪純司会頭をはじめ、市議会議長、教育長、観光協会長、それに荒川さんの両親、引率の和田光央教頭が出席。荒



ARでひとこと!

吹奏楽部でチューバ担当

川さんには、三輪会頭から感謝状が贈られた。このほか、大塚食品のピタミン炭酸MATCHの「青春ボトル甲子園」に富島高校で応募イラストを担当し、感謝状が贈られた。

文系でおとなしく見える彼女だが、美々津中時代は、意外にもバレーボール部。現在は吹奏楽部に所属。ずっしり重いチューバを担当というのも意外だ。目下、今年創立100周年を迎える同校の記念式典などの練習メニューをこなしている。

希望はデザイン関係の仕事

「お母さんが絵が好きでしたから」と言う彼女。どうやら美術の素質は母親譲らしい。和田教頭は「素直で優しい生徒です。どこに出しても恥ずかしくありません。性格もすばらしい」と称賛。現在、会計科3年。「卒業したら地元でデザイン関係の仕事がしたいです」と、夢を膨らませている。



吹奏楽部の仲間と



和田教頭と荒川さん

